

令和4年度 狩野川水系流域委員会 議事要旨

日時：令和4年12月12日（月）10:00～11:30

場所：プラサ ヴェルデ 3階302会議室

1. 委員会の成立

- ・委員総数8名の内、8名出席であることから、狩野川水系流域委員会規約第4条に則り、本委員会は成立した。

2. 報告

(1) 令和4年の出水状況

- ・事務局より「令和4年の出水状況」について報告した。

(2) 流域治水の取り組み

- ・事務局より「流域治水の取り組み」について報告した。

3. 議事

(1) 狩野川流域委員会規約の変更

- ・事務局より説明された「狩野川水系流域委員会規約の変更」について、出席委員全員一致で同意を得られ、本規約は、令和4年12月12日付けで施行された。

(2) 狩野川水系河川整備計画の点検

「狩野川水系河川整備計画の点検」について説明し、意見として次のような発言があった。

- ・本川と支川の合流点や蛇行の内岸側ではヨシ原やヤナギなどの植生が生育しやすいが、魚類・底生生物の洪水時の避難場所として重要な箇所である。樹木伐開が必要な場合でも必要最小限にとどめてほしい。
- ・黄瀬川合流前の狩野川本川について、河道が直角に曲がっており、流心が左岸側に寄っている。流心を中央に寄せるような工夫をし、土砂が堆積しにくくすることが望ましい。

- ・ 今後、低水路内の浚渫を実施することがあれば環境調査を行った上で実施してほしい。
- ・ 静岡県内では年々アユの産卵期が遅くなっている傾向がある。気候変動の影響も踏まえて、5年に1回水辺の国勢調査だけでなく、環境・生物に対する様々な問題を見逃さないためには、より詳細な調査を実施することが望ましい。
- ・ 狩野川中流域では、内水排除のためのポンプ運転について地域住民の方が大雨の中不安を抱えながら対応されている。流域治水の取り組みとして地域の方の意見を聞きながら進めてほしい。
- ・ 神島地区の「伊豆の国市かわまちづくり計画」について、水辺整備と道の駅（伊豆のへそ）などの周辺のまちづくりとのつながりを考えて、計画・整備を進めてほしい。

4. その他

(1) 気候変動の影響を踏まえた治水計画への見直し

「気候変動の影響を踏まえた治水計画への見直し」について説明し、意見として次のような発言があった。

- ・ 気候変動の影響を踏まえた治水計画の見直しの際に、河川環境に関しても、生物の情報などを十分に記載してもらいたい。

以上